

リーブラ便り

2012年1月、2月合併号 VOL. 32



リーブラのマークは、「男女平等」の願いをこめた「てんびん座（リーブラ）」をモチーフにしています。

目次

1. リーブラフェスティバル2012
 2. 講座案内
 3. 男女共同参画週間記念フォーラム2012
 4. 利用者交流懇談会
 5. 団体活動展示コーナー
 6. 運営協議会
 7. リーブラ相談室
 8. 男女平等参画情報
- ★別紙 1月の新着図書ご紹介



2月25日(土)と26日(日)、リーブラ・フェスティバル2012開催!!

いよいよ開催真近!!

リーブラを拠点に活動する団体の皆さんが日ごろの活動の成果を発表するリーブラフェスティバル2012が例年通り2月25日と26日に実施されます。今年も60団体が参加します。

絵画に手芸、社会貢献活動など団体の活動報告や手作りの作品の展示・販売を行います。丁寧な手仕事の作品を手に入れるチャンスです。

ホールでは合唱・音楽・演劇・ダンスなど、熱演が繰り広げられます。

団体が共同して実施するビンゴ大会もあり、来場者の皆さんも大いに楽しんでいただけることでしょう。

喫茶・軽食・食事も楽しみの一つですね。

これから何か始めたいと思っている方、地域のつながりを大切にしたいと考えている方にとってフェスティバルは素敵な出会いの場になることでしょう。

週末のお散歩がてら等、ちょっとお寄りになりませんか。

多くの皆様の来場をお待ちしています。

新しい試み

実行委員会で今年からスタートした新しい試みをご紹介します。

1. ポスター、パンフレットの自主制作

デザイン、印刷の見積もりから印刷会社の決定、製作とすべての工程を委員が担当しました。

2. 団体のコラボレーションを促進する委員会企画が2本

団体間の交流を促し、来場の皆様に楽しんでいただける企画を準備。

25日11時から『みんなで歌おう! コラボレーション』。楽しい歌声がリーブラに響きます。17時から参加団体の協力を得て『ビンゴ大会』が行われる予定です。素敵な賞品はどなたの手に??

3. 広報活動も活発に

1人でも多くの方に、地元の人達にリーブラのことを知ってもらいたいとの思いから今年の委員会は積極的な広報活動をスタートしました。

- ・近隣的大型マンションでのポスター掲示をお願いに直接訪問
 - ・大使館へのポスター掲示依頼
 - ・外国語のポスター製作 など
- 団体の皆様の協力を得ながら、地道に足を使って広報を行います。

ポスター紹介



パンフの紹介



2. 講座案内（リーブラ主催講座）

男性向け介護入門 一介護の基礎知識とネットワーク作りー

- 日時：3月10日（土）13:00～16:30
- 会場：4階 学習室A
- 講師及び内容：
 - 男性介護の実態と問題点について
講師：津止 正敏さん（立命館大学教授、男性介護者と支援者 全国ネットワーク事務局長）著書『男性介護白書』
 - 実際に役立つ港区独自の介護サービスについて
講師：港区高齢者支援課係長 真継 直さん
 - 港区の介護者ネットワークについて
港区介護者支援グループ
講師：支會（ささえのかい）代表幹事 澤田 滋さん
- 参加費：無料
- 対象：どなたでも
- 申込：定員30名（先着順）
電話・FAX・メール・窓口
- 保育：あり・無料 ※要予約（1歳から未就学児まで）
保育申込締切：2月25日（土）

ママのためのリフレッシュ講座 ーアートでほぐすココロとカラダー

- 日時：3月18日（日）13:30～16:00
- 会場：4階 学習室A
- ファシリテーター：
沢月芸生香さん（SpaceF・わひね、心理カウンセラー（認定心理士）、アートセラピスト）
- 内容：簡単な体ほぐしをした後に、絵の具を垂らしたり、クレヨンやパステルで描き足したりして、自由に色で遊ぶことで、楽しみながらココロとカラダをほぐします。イメージや感じる心を大切にするためのアर्टイック・ワークショップです。
- 参加費：無料
- 対象：子育て中の女性
- 申込：定員15名（先着順）
電話・FAX・メール・窓口
- 保育：あり・無料 ※要予約（1歳から未就学児まで）
保育申込締切：3月2日（金）



女性限定

「離婚が頭をよぎったら、聞く・聴く・効く講座 ーベストな人生選択のためにー」

- 日時：3月25日（日）13:00～16:30
- 会場：4階 集会室
- 講師及び内容：
 - ◆伊藤和子さん（弁護士、日弁連両性の平等に関する委員会委員長）
 - ◆吉祥眞佐緒さん（一般社団法人エーブラス代表）
 - 離婚・別居・同居それぞれの選択をした女性の生き方を紹介。離婚が頭をよぎった時に知っておくと役立つ法律知識や考え方を学ぶ講座。
 - DVかなと思ったら
 - 弁護士との付き合い方
- ※港区ひとり親家庭支援案内もあり。
- 参加費：無料
- 対象：女性
- 申込：定員30名（先着順）
電話・FAX・メール・窓口
- 保育：あり・無料 ※要予約（1歳から未就学児まで）
保育申込締切：3月9日（金）

3. 男女共同参画週間記念フォーラム2012

2012年6月に開催されるフォーラムの運営組織である「企画運営委員会」は、すでに4回開かれています。委員会の運営体制、今年のテーマ、主講演、企画募集要項、ポスターデザインなどについて、ひとつひとつ協議を重ねながら、区民参画による手作りのフォーラム開催に向けて着々と準備が進められています。

今年の主講演は「堤 未果さん」に講師をお願いする予定です。堤さんにどのようなお話をいただくか、趣旨を明確に伝えるため、企画運営委員会では丁寧な議論が進められています。今回は堤さんのプロフィールと、委員会で議論された講演趣旨概要についてご紹介します。



【堤未果さんプロフィール】

高校卒業後、アメリカに留学

ニューヨーク州立大学国際関係論学科卒、ニューヨーク市立大学大学院国際関係論学科修士課程終了。

国連婦人開発基金、アムネスティー・インターナショナルNY支局員を経て米国野村證券に勤務中に 9.11 同時多発テロに遭遇。以後ジャーナリストとして活躍、執筆、講演活動を続ける。

<主な著作>「社会の真実の見つけ方」「ルポ貧困大国アメリカ」「格差社会と言う名の不幸」など

【講演趣旨概要】

リーブラフォーラム2012のテーマ 「ゆるやかに、ゆっくり、たしかに」

3.11以降、日本は大きな変化を迎えました。未曾有の自然災害、福島原発事故・・・、私たちは今までにない漠然とした不安を抱えています。この「不安」の正体は何なのでしょう。また、危機という名の下に貧困・格差社会の助長として、男女平等が押しやられています。私たちが目指す真の男女平等参画社会形成という「未来」に向かって、今こそ、あせらず「ゆっくり」と「ゆるやかに」、そして「たしかに」歩まねばならないと思っています。この現実を自分のこととして捉え、男女平等のチャンスとするためには、私たちは何をなすべきなのでしょう。

9.11、3.11を経験し、格差と貧困、戦争、原子力に頼らない世界の視点を持って取材してきた堤さんの生の言葉で、危機の時こそが男女平等を根付かせるチャンスであること一希望ある明日を語っていただきたいと考えています。

上記をもとに、さらに企画運営委員会で検討を続けていきます。

～今後のスケジュール～

■企画募集締め切り 1月31日（火）

■企画説明会 2月6日（月）、2月7日（火）

■企画審査会 2月18日（土）10:00～12:00

※詳細はリーブラ事務局まで

4. 平成23年度 第2回 利用者交流懇談会が開催されました

リーブラを拠点に活動する一般団体と男女平等推進団体が一同に集う交流懇談会が12月9日（金）と12月10日（土）に実施されました。

交流懇談会は12月と5月の年2回実施されますが、12月は主に港区やセンターが次年度の事業方針を説明するものです。5月の懇談会では前年度の振り返りを報告する場になっています。いずれの会も、よりよいセンター運営のための利用団体の相互交流を図りつつ意見交換する場になっています。

今回は、2月実施のフェスティバルと6月のフォーラムの企画が並行して進行中のため、それぞれの実行委員長がイベントの進捗状況などを報告しました。両イベントとも団体メンバーから立候補した委員による実行委員会形式で運

営されており、区民・港区・センターの協働事業がほぼ順調に進行している事が情報共有されました。

リーブラからは、団体の皆さんが一同に会する機会を最大限に盛り上げようと「楽しく学ぶ男女平等」プチ講座を毎回実施。時々話題に沿ったテーマで男女平等を学び、考える機会にしています。

今回の講座のテーマは『男女平等川柳』。11月に発表された男女平等川柳最優秀賞・優秀賞を皆さんと味わいながら、川柳に表現された男女平等の意味を考えます。

また、港区にゆかりの深い『川柳の母―井上信子』の略歴や夫である井上剣花坊の作品―当時の港区の様子―関東大震災を詠んだ川柳―女性の立場から詠まれた川柳―等、今日われわれにも大いに共感できる作品の数々が紹介されました。

中でも井上信子の俳句集の原本を手配し、実物を紹介できたことが、参加者の大いなる興味を呼びました。

楽しく男女平等を学ぶ目的が達成できたと満足しています。

井上信子の句集と作品
銅像は出来 託児所はまだ出来ず
八十年 洗い晒しに耐えた生地



身近な男女平等を語る参加者

5. 団体活動展示コーナーをご存知ですか？

リーブラ利用者のみなさんの憩いの場、3階の交流コーナー壁面が、リーブラ登録団体の皆さんの活動紹介・作品展示の場となっています。

昨年2月から、以下の通り5つの一般団体が様々な作品を展示したり、リーブラ主催の参加型企画の展示を行っています。

2月からはハンディ&シニア企画桜の会より、洋服のタグを使った色とりどりの「タグのタペストリー」、その後3月11

日の震災を受けて、6月からは「自分のための」「少しでも明るい気持ちになるように」という女性の視点で制作された「防災ジャケット」を展示いただきました。

8月からはみなと水彩スケッチ倶楽部が会員の水彩画を、港俳句勉強会が俳句作品を展示しました。普段互いの活動内容を知ることがない他の団体のメンバーさんたちが鑑賞を楽しんでいる姿が見られました。

10月からは、リーブラで長く活動を続ける紅バラ会が、型染めの作品を展示しました。女性に対する暴力根絶のシンボルパープルリボンに合わせて、紫色の作品を作っていただき、壁面が紫色の作品で埋まり、大変華やきました。

11月末からはロザータカリグラフィーによるクリスマスのムードの作品を展示しました。

コーナーは現在大好評で、今年6月まで展示予定は埋まっておりますが、作品展示・活動紹介のご希望は受付中です。

展示担当：中村・溝口・沼田

団体名	展示期間 (揭示日-撤去日)	展示品
ハンディ&シニア企画 桜の会	2/24-6/23	タペストリー
ハンディ&シニア企画 桜の会	6/24-8/18	防災ジャケット他
みなと水彩スケッチ倶楽部	8/17-10/19	水彩画
港俳句勉強会	8/17-10/17	俳句
紅バラ会	10/21-11/25	型染め作品
リーブラ	10/21-11/25	みんなでつくるパープルリボン
ロザータカリグラフィー	11/26-1/28	カリグラフィー



6. 運営協議会

運営協議会委員より

「女性センター」から「男女平等参画センター」へ

女性センターはなぜ必要なのか、わざわざ女性センターと名前を付ける必要があるのか、女性センターは逆に男性差別ではないかと、よく言われてる頃、運営協議会の委員になりました。当時、協議される内容といえば、備品を増やして欲しい、部屋の使い方が汚いなど、使い勝手の善し悪しを話すことに多くの時間を費やしていたことを覚えています。その頃は、男女平等のことについて提案するものなら、委員の皆さんから白い目で見られ、この場はそういう話をする所ではないというお叱りを受けるといふ有様で、なかなか男女平等を理解してもらえず自然と委員を退くことになって行きました。

リーブラが「女性センター」から「男女平等参画センター」へ名称が変わり、条例も出来て、男性差別だということを知ることとも少なくなった今は、男女平等を推進する活動もしやすくなって来てい

ます。さらに、男性の利用者も増えていることから、男性もこれまでの生き方を見直す「男性学」を学ぶ場として、講座や運営協議会にも積極的に参加して頂きたいものです。

協議会も主管が変わるにつれ運営方法も変わってきています。「運営協議会は何をやる場所なのか」が分からないとよく言われますが、自分自身も具体的には理解しているとは言えず、一方的に出される事業報告を受け、議題を検討するに終わっている状況なので、これでいいのかなと思いつつ解決にいたっていません。しかし、センター運営に関わっている運営協議会としては協議会での決定事項や、検討事項は利用者に分かるように広報する必要があるのではないかと思います。今後、利用者の抱えている課題、センターの抱えている課題などの意見交換が出来たらいいなと思っています。

運営協議会委員 南 かほる

平成23年度 運営協議会 実施状況
第8回 12月15日、第9回 1月20日
に開催されました。

7. リーブラ相談室 心のサポートルーム便り

昨年度、リーブラ相談室に相談に訪れた女性の相談内容でもっとも多かったのは「夫婦」の相談でした。リーブラ相談室には、夫婦間のことで悩む女性が多く訪れています。リーブラでは、このようなことから、3月25日(日)、離婚の際に役立つ法律知識や考え方が学べる「女性限定 離婚が頭をよぎったら、聞く・聴く・効く講座ーベストな人生選択のためにー」を開催する予定です。ご自分にとってベストな人生の選択ができるように、リーブラの相談室や講座を活用していただきたいと思います。

<開室曜日・開室時間>

火曜日 16:00~20:00

水曜日 10:00~16:00

金曜日 10:00~16:00

金曜日 18:00~21:00

03-3456-5771 (専用電話)

※面談は事前にご予約ください。

電話相談も可能です。ご相談もご予約も上記の利用時間内に専用電話にてお願いします。

8. 男女平等参画情報 ~防災対策と女性の参画率~

1月17日は「防災とボランティアの日」、15~21日は「防災とボランティア週間」です。これらの記念日と週間は、平成7年1月19日に発生した阪神・淡路大震災と、それを機に活発になったボランティア活動をうけて設けられました。リーブラでも、昨年12月のシンポジウム『福島的女性たちの現状と課題』において、被災地や避難所での女性の悩みやニーズ、平時に比べてさらに多発するDV被害や性犯罪などがとりあげられましたが、災害時における女性の視点の必要性の多くは、阪神・淡路大震災や中越地震など、過去の被災地での支援と努力により浮かび上がってきたものでした。予期できない自然災害に対し、私たちができることは、過去の経験から学び、未来に生かすことだといえるでしょう。そこで気になるのが、自治体や地域の防災を担う場での女性の参画率です。内閣府(22年調べ)によると、防災の政策決定の場で女性の占める割合は、地域の自治会長では4.1%。都道府県防災会議委員では4.1%で、さらに女性の防災会議委員のいない都道府県が10件あります。女性消防団員は10万人が目標数ですが、現状では約19,000人(全国)です。阪神・淡路大震災からすでに17年がたちましたが、まだまだ女性の参加率は低いといわざるをえません。女性をはじめ、子どもや高齢者、障害者など多様な立場の方が、安心・安全に暮らせる地域づくりを、今後いかにとりくむべきか、あらためて考えさせられる数字です。



発行元	港区立男女平等参画センター リーブラ
住所	〒108-0023 港区芝浦3-1-47
TEL	03-3456-4149
FAX	03-3456-1254
HP	http://www.minatolibra.jp/
施設利用時間	月～土曜日 9:00~21:30 日曜日 9:00~17:00 * 祝日はその曜日に合わせての開館となります。
窓口受付時間	月～土曜日 9:00~20:00 日曜日 9:00~16:00

発行日: 2012年1月22日